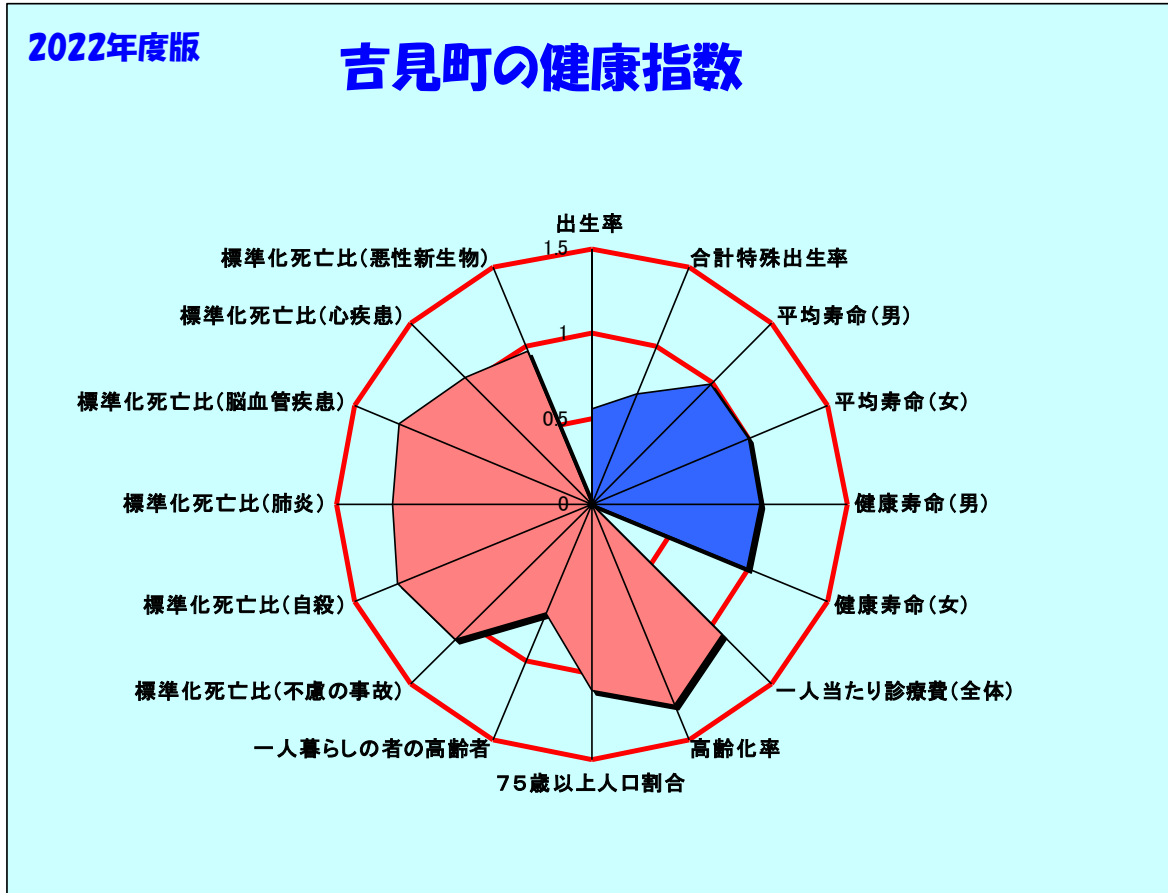


地域別健康情報の見方（抜粋）

— 吉見町を例に示しました —



埼玉県を1とした健康指数

項目		概要
1 出生率	0.6	* 合計特殊出生率は0.83で、埼玉県の0.7倍です。 * 健康寿命(男性)は、県内で40位です。 * 健康寿命(女性)は、県内で49位です。 * 一人当たり診療費(全体)は283,018円で、埼玉県の1.1倍です。 * 高齢化率は33.8%で、埼玉県の1.3倍です。 * 75歳以上人口割合は14.6%で、埼玉県の1.1倍です。 * 三大疾患のうち、埼玉県より標準化死亡比が高いのは心疾患、脳血管疾患です。標準化死亡比が低いのは悪性新生物です。
2 合計特殊出生率	0.7	
3 平均寿命(男)	1.0	
4 平均寿命(女)	1.0	
5 健康寿命(男)	1.0	
6 健康寿命(女)	1.0	
7 一人当たり診療費(全体)	1.1	
9 高齢化率	1.3	
10 75歳以上人口割合	1.1	
11 一人暮らしの高齢者	0.7	
12 標準化死亡比(悪性新生物)	1.0	
13 標準化死亡比(心疾患)	1.1	
14 標準化死亡比(脳血管疾患)	1.2	
15 標準化死亡比(肺炎)	1.2	
16 標準化死亡比(自殺)	1.2	
17 標準化死亡比(不慮の事故)	1.1	

(資料)

一人当たり診療費：国民健康保険事業状況(2020年度)

高齢化率・75歳以上人口の割合・一人暮らしの高齢者：国勢調査(2020年)

平均寿命・健康寿命：埼玉県の健康寿命算出ソフト「健寿君」(2021年)

標準化死亡比：埼玉県の年齢調整死亡率とSMR算出ソフト「スマール君」(2017年～2021年)

出生率・合計特殊出生率：「ツール君」(2017年～2021年)

吉見町の現状

[人口の状況]

人口静態(2022年) 単位:人

	総数	男	女
人口	18,390	9,285	9,105
65歳以上人口	6,450	3,061	3,389

資料:埼玉県町(丁)字別人口調査

世帯(2020年)

世帯数	6,864
一世帯人数	2.65

資料:国勢調査

段階別人口の推移

	2002年	2007年	2012年	2017年	2022年
年少人口 (0~14歳)	3,689	3,020	2,281	1,787	1,515
生産年齢人口 (15~64歳)	15,642	15,460	14,356	12,195	10,425
老年人口 (65歳以上)	3,524	4,052	4,638	5,763	6,450
高齢化率	15.4%	18.0%	21.8%	29.2%	35.1%

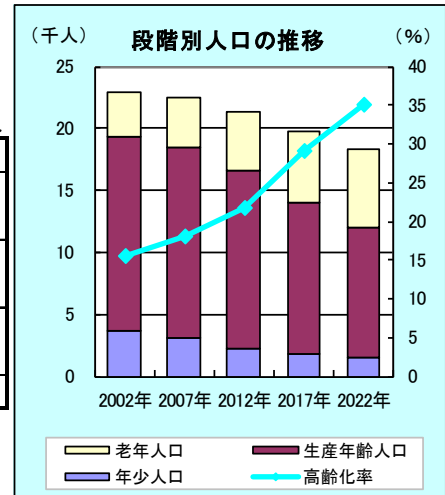
資料:埼玉県町(丁)字別人口調査

★町(丁)字別人口を基にした高齢化率です。

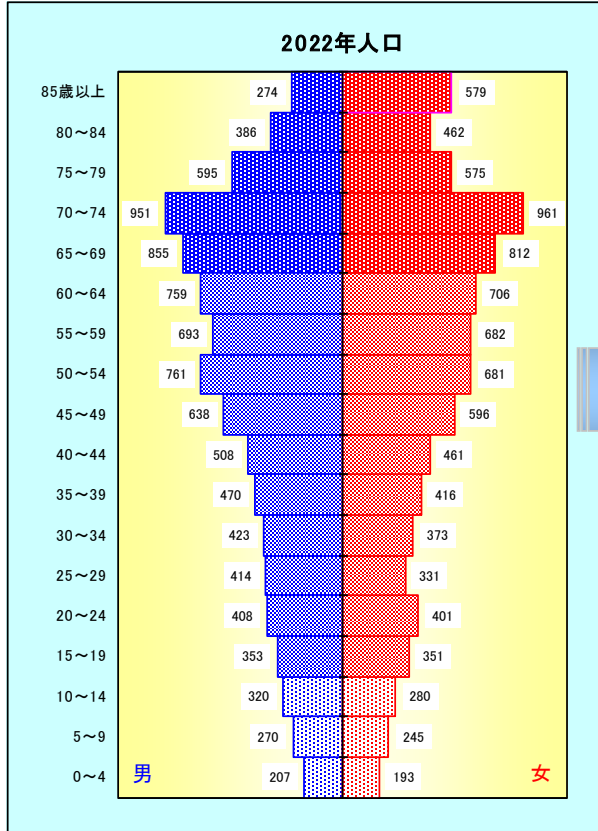
人口動態(2021年) 単位:人

	総数	男	女
出生数	80	44	36
死亡数	262	132	130
出生率	4.3	(人口千対)	
死亡率	1,404.5	(人口10万対)	

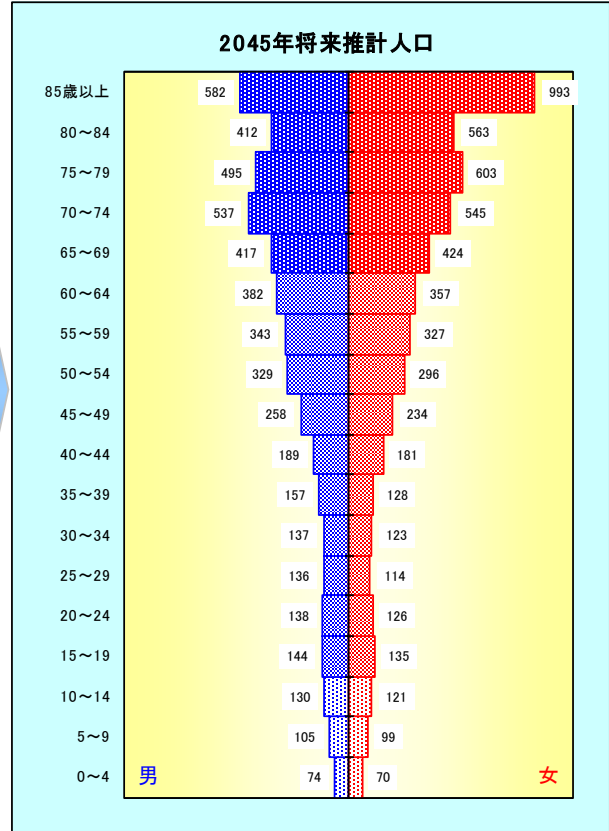
資料:人口動態統計、埼玉県町(丁)字別人口調査



人口構成の変化(将来推計人口)



資料:埼玉県町(丁)字別人口調査



資料:国立社会保障・人口問題研究所

「日本の市区町村別将来推計人口(2018年推計)」
(2015年国勢調査人口を基準に推計)

[平均寿命と健康寿命]

(2021年)

単位:年

	総数	男	女
平均寿命(0歳平均余命)	—	80.81	87.73
65歳平均余命	—	19.72	24.30
65歳健康寿命	—	17.92	20.67
65歳要介護期間	—	1.81	3.63
要介護等認定率(65歳以上)	13.3%	9.8%	16.4%

資料: 埼玉県健康寿命算出ソフト「健寿君」

★「健康寿命」(埼玉県における定義): 65歳に達した県民が健康で自立した生活を送る期間
→ 具体的には、「要介護2」以上になるまでの期間

★「要介護期間」 : 「要介護2」以上の期間

★「要介護等認定率」: 「要支援1」から「要介護5」の認定率

[高齢化の状況]

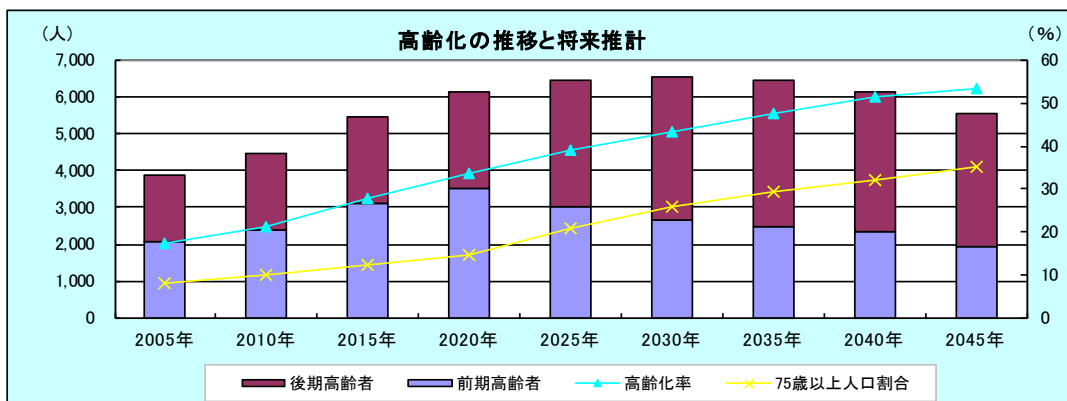
高齢化の推移と将来推計

単位:人

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	国勢調査人口				将来推計人口				
総人口	22,217	21,079	19,631	18,192	16,606	15,101	13,557	11,961	10,404
高齢化率	17.4%	21.3%	27.9%	33.8%	39.0%	43.4%	47.7%	51.5%	53.5%
高齢者人口 (65歳以上)	3,871	4,482	5,471	6,146	6,479	6,558	6,462	6,161	5,571
前期高齢者 (65~74歳)	2,085	2,392	3,091	3,499	3,037	2,640	2,495	2,332	1,923
後期高齢者 (75歳以上)	1,786	2,090	2,380	2,647	3,442	3,918	3,967	3,829	3,648

資料: 2020年までは国勢調査

資料: 2025年以降は「日本の市町村別将来推計人口(2018年推計)」



一人暮らしの高齢者の動向

単位:人

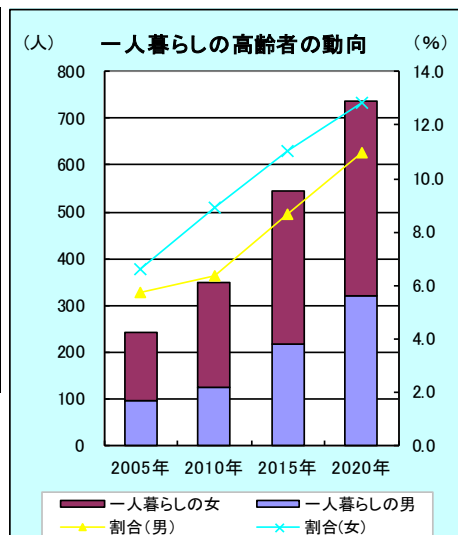
	2005年	2010年	2015年	2020年
(総数)				
一人暮らしの者	241	348	544	736
高齢者に占める割合	6.2%	7.8%	9.9%	12.0%
(男)				
一人暮らしの者	96	126	216	320
高齢者に占める割合	5.8%	6.3%	8.7%	11.0%
(女)				
一人暮らしの者	145	222	328	416
高齢者に占める割合	6.6%	8.9%	11.0%	12.9%

資料: 国勢調査

※棒グラフは「一人暮らしの者」を示し、国勢調査の「単独世帯」を指す。

※折れ線グラフは高齢者人口に占める「一人暮らしの者」の割合を示す。

★年齢不詳の人口は含まれていません。



【死亡の状況】←平成29年1月分から「死因順位に用いる分類項目」が変更されました。

死因別死亡割合(2021年)

単位:人

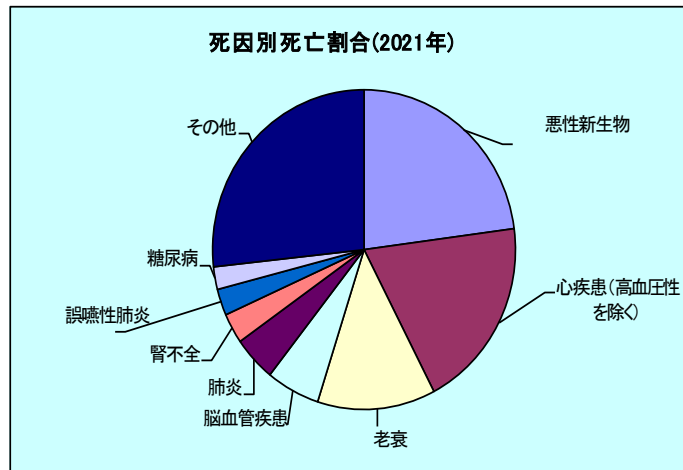
		(%)
全死因		100
第1位	悪性新生物	22.9
第2位	心疾患(高血圧性を除く)	19.5
第3位	老衰	10.5
第4位	肺炎	8.6
第5位	脳血管疾患	8.4
第6位	不慮の事故	7.7
第7位	腎不全	7.7
第8位	糖尿病	2.3
その他		26.7

【死因別死亡割合】は、
変更後の「死因順位に用いる分類項目」による順位

第1位	悪性新生物	22.9
第2位	心疾患(高血圧性を除く)	19.5
第3位	老衰	10.5
第4位	肺炎	8.6
第5位	脳血管疾患	8.4
第6位	不慮の事故	7.7
第7位	腎不全	7.7
第8位	糖尿病	2.3
その他		26.7

資料:人口動態統計

※ 「死因順位に用いる分類項目」による。
死亡割合が同率の場合は、死因简单分類コード番号順に掲載している。
9位以下は8位と同率であっても掲載していない。



ライフステージ別死因順位(2017年～2021年)

	幼年期 (0～4歳)	少年期 (5～14歳)	青年期 (15～24歳)	壮年期 (25～44歳)	中年期 (45～64歳)	高齢期 (65歳以上)	総数
第1位	乳幼児突然死症候群 100%		不慮の事故 50%	自殺 30.8%	悪性新生物 43.4%	悪性新生物 25.2%	悪性新生物 26.1%
第2位			心疾患(高血圧性を除く) 25%	心疾患(高血圧性を除く) 15.4%	心疾患(高血圧性を除く) 19.3%	心疾患(高血圧性を除く) 15.8%	心疾患(高血圧性を除く) 16.0%
第3位			自殺 25%	不慮の事故 15.4%	脳血管疾患 7.2%	老衰 11.5%	老衰 10.5%
第4位				悪性新生物 7.7%	脳血管疾患 2.4%	肺炎 9.4%	肺炎 8.6%
第5位					脳血管疾患 8.5%	脳血管疾患 8.4%	脳血管疾患 8.4%
第6位					不慮の事故 7.7%	不慮の事故 2.3%	不慮の事故 2.4%
第7位				腎不全 7.7%	糖尿病 1.2%	血管性及び詳細不明の認知症 2.0%	血管性及び詳細不明の認知症 1.8%
第8位					糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患 1.2%	慢性閉塞性肺疾患 1.6%	肝疾患 1.6%
		その他 100%		その他 7.7%	その他 13.3%	その他 23.8%	その他 24.6%

【ライフステージ別死因順位】と【40歳以上の死因順位】は、
5年間の平均値であることから、
旧分類の「死因順位に用いる分類項目」による順位

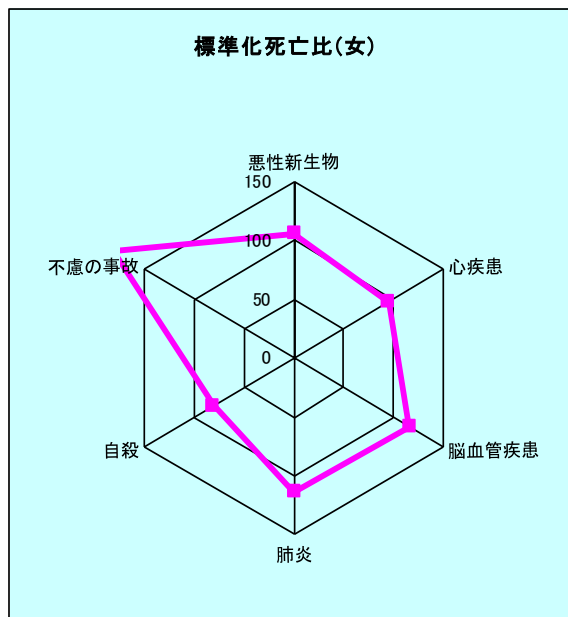
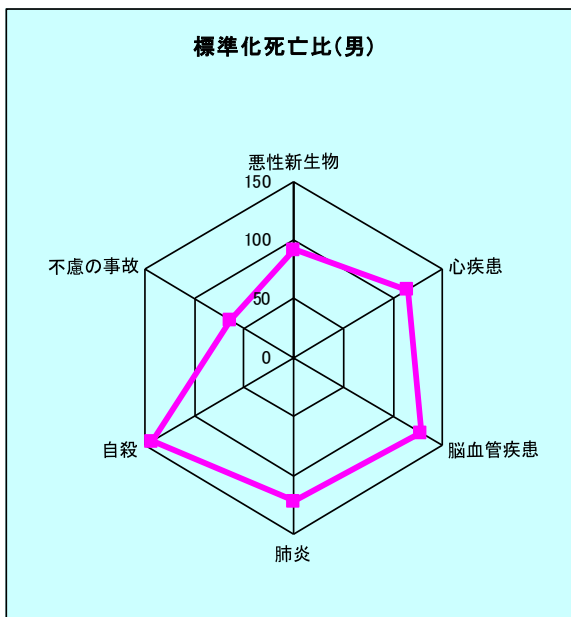
資料:人口動態統計 ※ 旧分類の「死因順位に用いる分類項目」による。死亡割合が同率の場合は、死因简单分類のコード番号順に掲載している。9位以下は8位と同数であっても掲載していない。

標準化死亡比(2017年～2021年)

(基準集団:埼玉県100)

	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	自殺	不慮の事故
男	91.6	114.6	127.5	121.7	142.7	63.8
女	105.7	95.2	116.0	113.4	80.9	180.8 *
総数	97.2	105.0	122.1	116.8	123.3	113.3

SMR検定: *p<0.05,**p<0.01



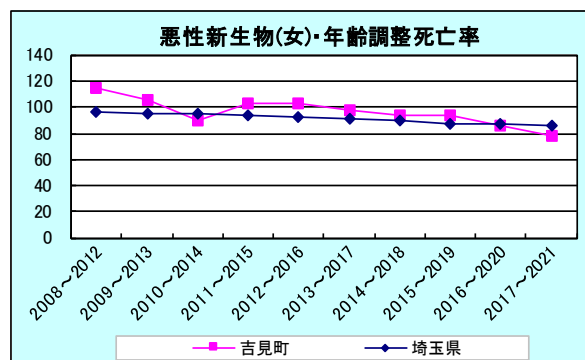
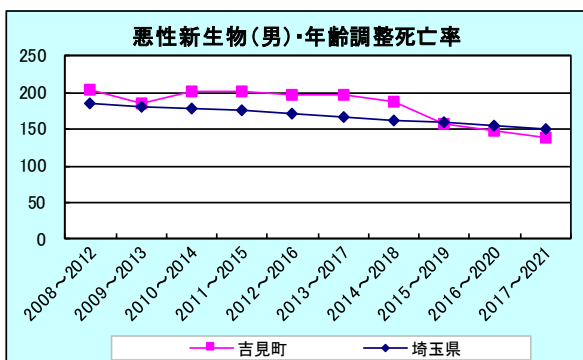
資料:埼玉県の年齢調整死亡率とSMR算出ソフト「スマール君」

年齢調整死亡率

【悪性新生物】

(人口10万対)

		'08 ~ '12年	'09 ~ '13年	'10 ~ '14年	'11 ~ '15年	'12 ~ '16年	'13 ~ '17年	'14 ~ '18年	'15 ~ '19年	'16 ~ '20年	'17 ~ '21年
男	吉見町	203.2	185.8	201.8	201.5	195.6	197.8	187.3	157.6	148.1	138.9
	埼玉県	185.9	181.5	178.0	174.7	171.1	166.5	162.6	158.5	154.5	151.1
女	吉見町	115.1	105.1	90.3	103.5	102.8	98.3	94.0	93.8	86.0	77.8
	埼玉県	96.2	95.2	94.5	93.2	92.1	90.7	89.3	87.6	86.9	85.8



★男女別に悪性新生物・心疾患・脳血管疾患・自殺・不慮の事故の年齢調整死亡率の経年変化が把握できます。

[母子保健の状況]

(2021年)

単位:人

出生数	(再掲)		乳児死亡数	15歳未満死亡数
	低出生体重児出生数	極低出生体重児出生数		
80	6	1	1	1

諸率

出生率	低出生体重児出生率	極低出生体重児出生率	乳児死亡率	15歳未満死亡率
4.3 (人口千対)	75.0 (出生千対)	12.5 (出生千対)	12.5 (出生千対)	64.7 (人口10万対)

資料:人口動態統計、埼玉県町(丁)字別人口調査

☆出生体重不詳の出生数は低出生体重児出生率・極低出生体重児出生率に含まれません。

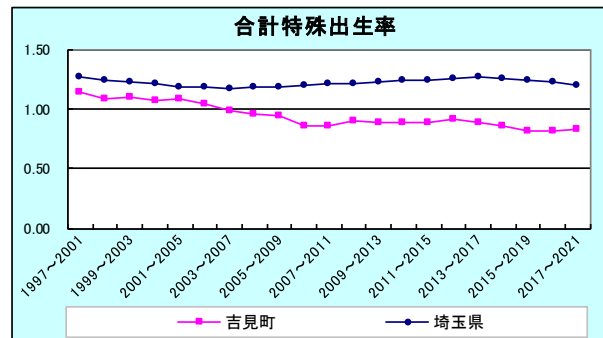
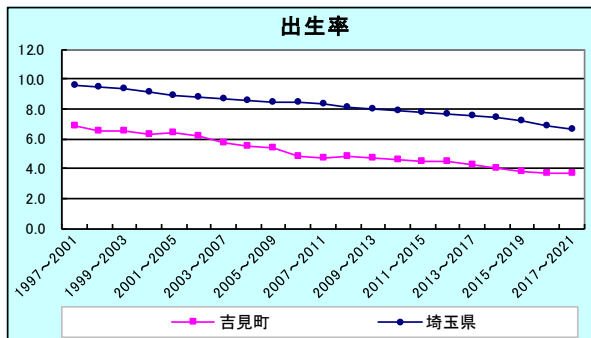
【出生率】

(人口千対)

	'03~'07年	'05~'09年	'07~'11年	'09~'13年	'11~'15年	'13~'17年	'15~'19年	'17~'21年
吉見町	5.7	5.4	4.7	4.7	4.5	4.3	3.7	3.7
埼玉県	8.6	8.4	8.3	8.0	7.8	7.6	7.2	6.7

【合計特殊出生率】

	'03~'07年	'05~'09年	'07~'11年	'09~'13年	'11~'15年	'13~'17年	'15~'19年	'17~'21年
吉見町	0.99	0.94	0.86	0.88	0.89	0.89	0.82	0.83
埼玉県	1.17	1.19	1.21	1.23	1.25	1.26	1.25	1.19



☆母の年齢が不詳の出生数は合計特殊出生率に含まれません。

☆出生率・合計特殊出生率・低出生体重児出生率・極低出生体重児出生率・乳児死亡率・15歳未満死亡率の経年変化が把握できます。

[特定健診・がん検診の状況]

特定健康診査(2021年度)

単位:人

	対象者数	受診者数	受診率
吉見町	3,519	1,296	36.8%
埼玉県	1,032,518	394,870	38.2%

特定保健指導実施状況(2021年度)

単位:人

	対象者数	終了者数	動機付け支援相当終了者数	モデル事業終了者数	終了者数の割合	特定保健指導終了者の割合
積極的支援	29	1	0	0	3.4%	10.8%
動機付け支援	156	19	-	-	12.2%	

☆特定健康診査・特定保健指導の対象者は、市町村国保の加入者のみです。

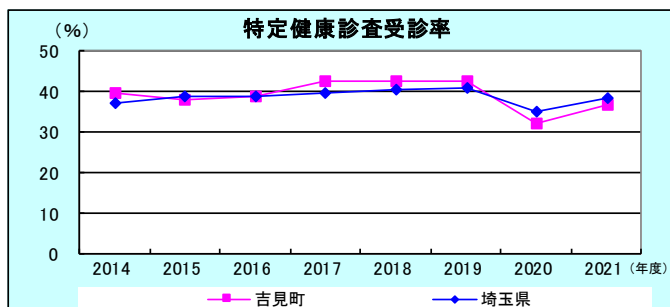
特定健康診査受診率の年次推移

(年度)

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
吉見町	39.7%	38.0%	38.8%	42.6%	42.3%	42.5%	32.1%	36.8%
埼玉県	37.2%	38.6%	38.9%	39.6%	40.3%	40.7%	34.9%	38.2%

資料: 特定健診・特定保健指導保険者別実施状況(法定報告)

※対象者: 市町村国民健康保険加入者



がん検診の状況(2019年度)

単位: 人

	対象者数	受診者数	受診率	要精検率	精検受診率
胃がん	6,176	337	7.2%	5.9%	85.0%
肺がん	8,568	554	6.5%	1.6%	100.0%
大腸がん	8,568	753	8.8%	4.8%	77.8%
子宮頸がん	5,791	305	8.4%	2.3%	71.4%
乳がん	4,129	569	18.0%	6.0%	85.3%

資料: 2019年度地域保健・健康増進事業報告(閲覧(健康増進編)市区町村表)

要精検率、精検受診率は2020年度報告(2019年度における各検診受診者数、要精密検査者数)から算出。

☆要精検率の算出に用いた受診者数は、令和2年度報告で改めて把握されたものであり、令和元年度受診者数とは異なります。

☆要精検者数と精検受診者数から精検受診率を算出しました。

がん検診受診率の年次推移

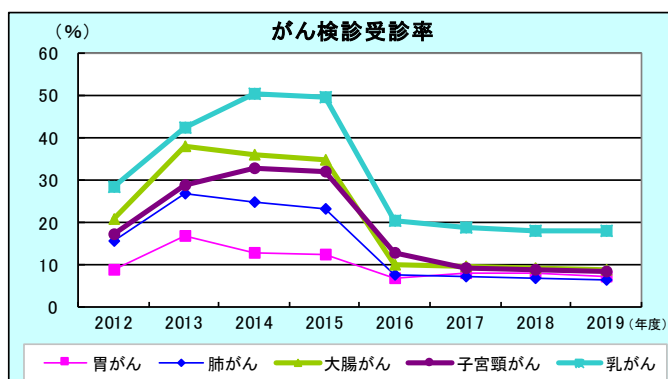
(年度)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
胃がん	8.8%	16.8%	12.6%	12.3%	6.8%	8.2%	7.9%	7.2%
肺がん	15.4%	26.9%	24.8%	23.1%	7.7%	7.3%	6.8%	6.5%
大腸がん	20.7%	38.1%	35.9%	34.9%	9.9%	9.7%	9.2%	8.8%
子宮頸がん	17.3%	28.6%	32.9%	31.8%	12.8%	9.2%	8.8%	8.4%
乳がん	28.2%	42.3%	50.4%	49.4%	20.2%	18.7%	18.1%	18.0%

資料: 地域保健・健康増進事業報告

- 1) 「子宮頸がん検診」は、2012年度までは、「子宮がん検診」として調査。
- 2) 2013年度以降の受診率は、40～69歳(胃がんは2016年度以降50～69歳、子宮頸がんは20～69歳)を対象として算出。

- ※「-」は、計数がないことを表す。
- ※「…」は、計数不明又は計数を表章することが不適当な場合を表す。
- ※ 県、保健所、圏域の受診率は、計数不詳の市町村を除いた値である。



☆「胃がん」「子宮頸がん」及び「乳がん」の受診率

$$= \frac{\text{前年度の受診者数} + \text{当該年度の受診者数} - 2\text{年連続の受診者数}}{\text{当該年度の対象者数}} \times 100$$

☆「乳がん」の受診率算出のための受診者数は、平成28年度以降「マンモグラフィ受診者」

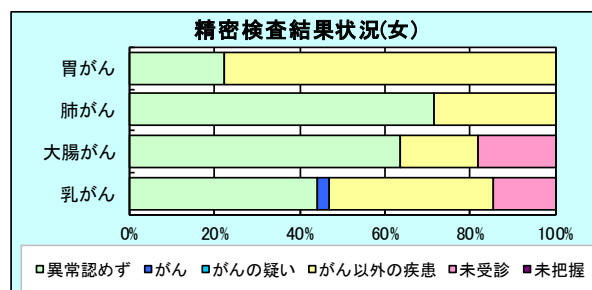
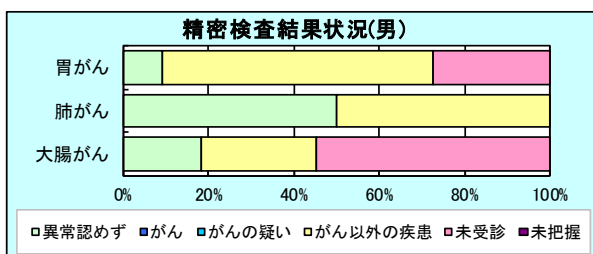
がん検診精密検査結果状況(2019年度)

単位:人

		要精検者数	異常認めず	がん	がんの疑い	がん以外の疾患	未受診	未把握
胃がん	男	11	1 9.1%	0 0%	0 0%	7 63.6%	3 27.3%	0 0%
	女	9	2 22.2%	0 0%	0 0%	7 77.8%	0 0%	0 0%
肺がん	男	2	1 50.0%	0 0%	0 0%	1 50.0%	0 0%	0 0%
	女	7	5 71.4%	0 0%	0 0%	2 28.6%	0 0%	0 0%
大腸がん	男	17	2 11.8%	0 0%	0 0%	3 17.6%	6 35.3%	0 0%
	女	19	7 36.8%	0 0%	0 0%	2 10.5%	2 10.5%	0 0%
子宮頸がん		7	2 28.6%	0 0%	CIN等 3 42.9%	0 0%	2 28.6%	0 0%
乳がん		34	15 44.1%	1 2.9%	0 0%	13 38.2%	5 14.7%	0 0%

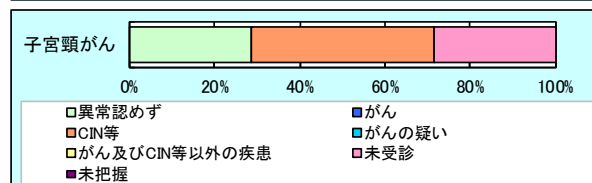
※算定対象年齢は、40～69歳(胃がんは50～69歳、子宮頸がんは20～69歳)とした。

※「CIN等」は、CIN3～1、AIS又は腺異形成であった者を表す。



資料: 地域保健・健康増進事業報告

☆未把握・未受診者の把握ができます。

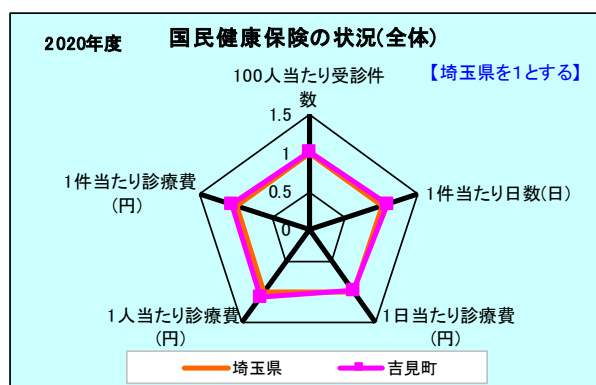


[国民健康保険の状況]

診療諸率(2020年度)

【全体】

	100人当たり受診件数	1件当たり日数	1日当たり診療費	1人当たり診療費	1件当たり診療費
吉見町	970	2.01	14,537	283,018	29,178
埼玉県	944	1.86	14,831	260,192	27,569



資料: 国民健康保険事業状況

☆埼玉県を1としてレーダーチャートで比較ができます。

☆退職者医療制度の終了により今回から全体のみになります。

指標の算出方法

[人口の状況]

- 死亡率 = $\frac{\text{死亡数}}{\text{総人口}} \times 100,000$ (人口 10 万対)
- 出生率 = $\frac{\text{出生数}}{\text{総人口}} \times 1,000$ (人口千対)
- 高齢化率 = $\frac{\text{65歳以上人口}}{\text{総人口}} \times 100$ (%)

[平均寿命と健康寿命]

※平均寿命・健康寿命・要介護期間の算出方法は「埼玉県の健康寿命」(平成 17 年度 埼玉県・社団法人埼玉県医師会発行)参照。

- 要介護認定率(65 歳以上) = $\frac{\text{65歳以上要介護認定者数}}{\text{65歳以上人口}} \times 100$ (%)

[高齢化の状況]

- 75 歳以上人口割合 = $\frac{\text{75歳以上人口}}{\text{総人口}} \times 100$ (%)
- 一人暮らしの者の高齢者に占める割合
= $\frac{\text{65歳以上の単独世帯}}{\text{65歳以上人口}} \times 100$ (%)

[死亡の状況]

- 標準化死亡比(SMR)
= $\frac{\text{対象集団の死亡数}}{\sum [\text{基準集団の年齢階級別死亡率} \times \text{対象集団の年齢階級別人口}]} \times 100$
- 年齢調整死亡率
= $\frac{\sum [\text{対象集団の年齢階級別死亡率} \times \text{基準集団の年齢階級別人口}]}{\text{基準集団の総人口}} \times 100,000$
(人口 10 万対)

[母子保健の状況]

- 低出生体重児(2500g未満)出生率 = $\frac{\text{低出生体重児出生数}}{\text{全出生数}} \times 1,000$ (出生千対)
- 極低出生体重児出生率(1500g未満)出生率
= $\frac{\text{極低出生体重児出生数}}{\text{全出生数}} \times 1,000$ (出生千対)
- 乳児死亡率 = $\frac{\text{乳児(生後1年未満)死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$ (出生千対)
- 15歳未満死亡率 = $\frac{\text{15歳未満死亡数}}{\text{15歳未満人口}} \times 100,000$ (15歳未満人口10万対)
- 合計特殊出生率 = $\left[\frac{\text{母の年齢階級別出生数}}{\text{年齢階級別女子人口}} \right]$ 15歳～49歳までの合計
※5歳年齢階級で計算。従って各年齢階級の値を5倍し合計する。

[健診の状況]

- 要精検率 = $\frac{\text{要精密検査者数}}{\text{受診者数}} \times 100$ (%)
- 精検受診率 = $\frac{\text{精密検査受診者数}}{\text{要精密検査者数}} \times 100$ (%)

[国民健康保険の状況]

- 100人当たり受診件数(受診率) = $\frac{\text{件数}}{\text{平均被保険者数}} \times 100$
- 1件当たり日数 = $\frac{\text{診療に要した日数}}{\text{件数}}$ (日)
- 1日当たり診療費 = $\frac{\text{費用額}}{\text{診療に要した日}}$ (円)
- 1人当たり費用額 = $\frac{\text{費用額}}{\text{平均被保険者数}}$ (円)
- 1件当たり診療費 = $\frac{\text{費用額}}{\text{件数}}$ (円)